

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	【実績】 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	課題及び今後の方向性 ①課題 ②今後の方向性
合計						79,895,518	79,037,000		
1	単	手洗い・便器自動水栓設置工事	①役場庁舎・議会棟のトイレの手洗い・便器を自動水栓化し、非接触化にすることで、新型コロナウイルス感染症拡大の防止、衛生面、利便性の向上を図った。 ②手洗自動水栓10基、小便器自動水栓13基、大便器自動水栓19基の自動水栓化及び非接触化 ③工事請負費 一式2,240,700円 ④役場庁舎・議会棟	R3.4.27	R3.7.30	2,240,700	2,240,700	①役場庁舎・議会棟のトイレにおいて便器及び洗面台を自動水栓化にし、非接触化を図った。 ②不特定多数が利用する役場庁舎・議会棟のトイレにおいて、非接触率が高まり、感染リスクの軽減が図られた。	①適切な管理を行い長寿命化を図る必要がある。 ②感染リスクの軽減を図るため適切な管理をする必要がある。
2	単	役場庁舎熱交換器換気扇交換工事	①役場庁舎に設置している熱交換器換気扇を更新することにより換気を良好にし、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。 ②熱交換器換気扇6基を更新 ③工事請負費 一式3,652,000円 ④役場庁舎	R3.5.31	R3.8.2	3,652,000	3,652,000	①役場庁舎に設置している熱交換器換気扇6基を更新し換気を良好にした。 ②不特定多数が利用する役場庁舎の換気性能が向上し、感染リスクの軽減が図られた。	①適切な管理を行い長寿命化を図る必要がある。 ②感染リスクの軽減を図るため適切な管理をする必要がある。
3	単	雇用維持・事業持続化支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した事業者の雇用維持と事業継続を支援した。 ②対象期間内に支出した固定費(人件費、家賃、リース料、広告費、電気料、水道料、燃料費) ③固定費の1/2以内(予算の範囲内) ・支援金 49,199千円 ④村内事業者	R3.4.1	R3.7.2	49,199,000	49,199,000	①交付決定件数:2件 R2.12月～R3.3月 固定費の1/2以内 ②村内事業者の雇用維持及び事業継続に繋がった。	①新型コロナウイルス感染症が長期化していることから、村内事業者は引き続き厳しい経営状況を強いられている。 ②社会情勢及び地域経済を注視したうえで、必要な対策を検討する。
4	単	「大潟村から元気を！」地域活力回復事業(飲食券配布事業)	①村民に飲食券を配布することで、消費喚起を図り、村内飲食事業者の事業継続を支援した。 ②村民1人につき、3,000円分の飲食券を配布し、使用された券に対し負担金を交付 ③・印刷製本費 390千円 ・郵券料 301千円 ・負担金 8,450千円 ④村内飲食店	R3.4.30	R4.3.31	9,140,318	9,136,850	①配布枚数:9,312枚 利用枚数:8,450枚(利用率90.74%) ②村内飲食店の利用促進と消費拡大に寄与し、村内飲食事業者の支援に繋がった。	①新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛ムードが続いたことから、事業初期から飲食券の利用控えがあり、事業終期に集中した。 ②新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、事業者及び利用者の双方が利用しやすい事業を検討する。
5	単	「大潟村から元気を！」地域活力回復事業(花火打上事業)	①新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止などにより、落ち込んだ地域活力の回復を図った。 ②花火打上に係る経費、周知に係る経費 ③委託料 990千円 文書配布委託料 44千円 ④県内事業者	R3.7.12	R3.9.12	1,034,000	1,025,468	①8月16日花火打上を実施 ②コロナ禍により村内イベントの中止が相次いだ中、花火を打ち上げることで地域活力の回復が図られた。	①新型コロナウイルス感染症対策を講じたなかでの開催に苦慮した。 ②地域活力及び村民の交流環境を維持するため、引き続き努める。
6	単	保健センター改修工事	①従来の保健事業に加え、ワクチン接種業務など新型コロナウイルス感染症に対応するため、保健師等の人員増を図ったが、事務作業スペースの確保が困難となった。3密を避けながら事業を円滑に実施するため、保健センター事務室を拡充した。 ②保健センター事務室の拡張(隣室間の壁撤去、照明・壁・床等の補改修) ③工事請負費 929千円 〔内訳〕 ・解体工事 196千円 ・仕上工事 201千円 ・電気工事 198千円 ・設備器具等撤去 85千円 ・雑工事 19千円 ・諸経費 230千円 ④大潟村保健センター	R3.10.12	R4.1.28	929,500	382,982	①保健センター事務室の壁を撤去するなど、3密を避けながら事業を円滑に実施するための拡張工事を行った。また、スペースが確保できたため、保健センターをワクチンの個別接種会場としても使用している。 ②事務室を拡張し、スペースを確保することで、3密を避けながら村民からの相談を受けることができるようになるなど、保健センターを新型コロナウイルスに対応した施設とすることができた。	①今後、コロナ禍における職員体制等のソフト面も整備がさらに必要を考える。 ②見通しがたたないまま長期化する現状のなか、新型コロナワクチン集団接種の時期には、他部署から職員を派遣してもらうなどして対応する。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	交付対象事業の名称	【実績】 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費（円）	交付金充当額（円）	成果及び評価 ①成果・効果 ②評価	課題及び今後の方向性 ①課題 ②今後の方向性
7	単	子育て世帯への臨時特別支援金(村事業分)	①国事業の所得制限を超えた子育て世帯についても、長期化する新型コロナウイルスの影響は多大であることから、子育て世帯に対する公平な経済的支援を目的に給付事業を実施した。 ②児童手当(特例給付)受給者及び国事業所得制限を超えた高校生世帯への給付金(子育て世帯への臨時特別支援金) ③100,000円×137人=13,700,000円 ④児童手当(特例給付)の受給者及び 高校生の保護者で児童手当(特例給付)相当の所得の方	R4.1.27	R4.3.31	13,700,000	13,400,000	①対象者137人に支給した。 ②国が実施した「子育て世帯への臨時特別給付金」と併せて本事業を実施したことにより、子育て世帯に対する公平な経済的支援を行うことができた。	①新型コロナウイルスの影響が長期化するなかで、今後も状況に応じて支援していく必要がある。 ②新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、安心して子育てができる支援を検討していく。